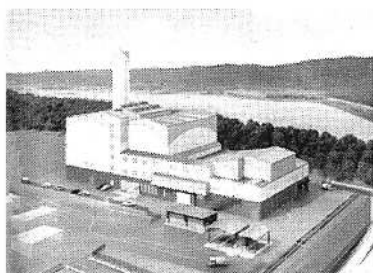


三重県松阪市

新電力会社の共同事業者を選定

廃棄物由来の再エネ地産地消へ



松阪市クリーンセンター

三重県松阪市は、松阪市クリーンセンターを利用して発電事業を実施しており、

この地域内で再生可能エネルギーを循環させる地産地消型の新電力事業会社を設立する。このたび民間の事業パートナーをパートナー方式

により公募し、東邦ガス（名古屋市）に決定した。

松阪市クリーンセンターの高効率発電施設は、ストーカ式炉2炉（1日当たりの処理能力200トン）を保有し、最大発電出力は3500キロワットに上る。今回の事業は、これら地域の再生可能エネルギー由

来の電力を購入し、市の公共施設に供給するもの。地域経済の活性化に寄与することも、さらなる再生可能エネルギーの利用拡大と市民の環境意識の向上などを図る。

同市は、「事業の運営には、専門的な知識と技術、手法、経験等が必要であり、経営面においても環境変化に柔軟に対応できる経営能力などが求められる」とし、民間事業者との共同出資により新電力事業会社を設立することを決めた。

東邦ガスは、▽公共に対する理解が非常に高いこと▽今後の事業展開において、松阪地域に貢献する姿勢が強く感じられたこと▽自社電源を保有し、電力の需給調整の信頼性が高いこと▽提案者のなかで唯一松阪市内に事業所を開設していること―といった点が評価された。今後の計画としては、2017年度内の電力供給開始を目指している。